

音楽ホール・中心部震災メモリアル拠点複合施設 シンポジウム 文化芸術・建築から考える、これからの仙台



仙台市では、文化芸術の総合拠点である音楽ホールと災害文化の創造拠点である中心部震災メモリアル拠点の複合整備を進めています。

基本理念として掲げる「人・文化・まちを育む創造の広場～文化芸術と災害文化がつなぐ 人と人、過去と未来、仙台と世界～」のもと、日常の中で文化芸術や学びに触れ、交流し、創造的な活動が広がっていく、全ての人に開かれた「広場」を目指しています。

本シンポジウムでは、文化芸術と建築の視点から、まちづくりの拠点として、この複合施設が仙台にもたらす意義や可能性について、市民の皆さんとともに考えます。

日時

令和8年 6月6日(土)

14:00～16:30(13:30開場)

会場

日立システムズホール (仙台市青年文化センター)

2階 交流ホール 仙台市青葉区旭ヶ丘3-27-5(地下鉄南北線旭ヶ丘駅より徒歩3分)

内容

- 特別講演 政治思想史研究者／音楽評論家 慶応義塾大学法学部教授 片山 杜秀氏
 - 仙台市長プレゼンテーション 仙台市長 郡 和子
 - 設計者による基本設計の解説 藤本壮介建築設計事務所代表 藤本 壮介氏
 - 会場参加型トークセッション 仙台市長、藤本 壮介氏、片山 杜秀氏
- ファシリテーター 東北大学大学院工学研究科准教授 複合施設整備アドバイザー 本江 正茂氏

入場無料

要事前申込(先着200名)

※動画配信あり

主催：仙台市

登壇者プロフィール

かた やま もり ひで

片山 杜秀 氏

1963年宮城県仙台市生まれ。

広島県三原市芸術文化センターポポロ館長(2020年～) 水戸芸術館館長(2024年～)
2008年『音盤考現学』及び『音盤博物誌』(共にアルテスパブリッシング)で吉田秀和賞、サントリー学芸賞を受賞。2012年『未完のファシズム』(新潮社)で司馬遼太郎賞を受賞。2024年度芸術選奨評論部門にて文部科学大臣賞を受賞。NHKFM「クラシックの迷宮」のパーソナリティ、吉田秀和賞、尾高賞、佐治敬三賞などの審査員を務める。



ふじもと そうすけ

藤本 壮介 氏

1971年北海道生まれ。

東京大学工学部建築学科卒業後、2000年藤本壮介建築設計事務所を設立。2014年フランス・モンペリエ国際設計競技最優秀賞(ラルブル・ブラン)に続き、2015、2017、2018年にもヨーロッパ各国の国際設計競技にて最優秀賞を受賞。国内では、「2025年日本国際博覧会」の会場デザインプロデューサーに就任。2024年には「(仮称)国際センター駅北地区複合施設基本設計業務委託」の基本設計者に特定。



Jan Buus

シンポジウム参加申込方法

■ **申込方法** ※個人情報とは本説明会に関することに限り使用します

① **せんだいオンライン申請サービス**

<https://logoform.jp/form/3PrJ/1527335>

② **電話** (下段お問い合わせ先へ。受付時間 平日9:00～17:00)



申込フォーム

■ **申込締切**

令和8年6月4日(木) 17:00

※先着順。定員200名に達した時点で受付を終了します。

■ **動画配信**

当日の様子をリアルタイムで動画配信するとともに、後日せんだいTubeに掲載します。

配信に関する情報は下記ホームページに掲載します。

<https://www.city.sendai.jp/shinsaifukko/hukugoushisetsu/kentou/kentoujyoukyou.html>



市ホームページ

■ **情報保障**

手話通訳をご希望の方は申込みの時にお申し出ください。

お問い合わせ

仙台市 青葉山エリア複合施設整備室

電話：022-214-6139 E-mail：bun008830@city.sendai.jp